

令和8年度 第1回安東中グループ小中一貫教育運営委員会 及び 学校運営協議会 を開催しました

今年度も安東中グループの4校(安東中・安東小・城北小・竜南小)は、複数中学校へ進学する小学校と中学校が連携する地域の特性をふまえ、更に小中一貫教育を推進するとともに、2年目を迎えたコミュニティスクール(以下、CS)(安東小中 CS・城北小 CS・竜南小 CS)を充実させていきます。

今回は5月14日(木)に行われた第1回小中一貫教育運営委員会と、同日開催となった各学校運営協議会について報告します。(城北小 CS は別日開催)

第1部の小中一貫教育運営委員会は、安東中・城北小・竜南小の三会場でのオンライン開催となりました。新任校長挨拶、統括校長より令和8年度の安東中学校区小中一貫教育構想について、また各校の主幹教諭・教務主任より「生活・学び・仲間づくり」における課題・今年度の取組についてスライドで説明があり、参加者全員で確認しました。

第2部の各学校運営協議会は CS ごとに行いました。以下はその様子です。

<安東小中 CS>

テーマ①安東小:「更に地域学習を地域と連携して取り組むために」

『安東地区には以前地踊りや安東小音頭があった。お祭りに参加することでそうしたことを知る機会となる。地域の伝統を知ることによって地域とのつながりが深くなる。』『防災的な視点での学びも入れたらどうか』などのご意見をいただきました。地域の財を生かした総合的な学習の時間となるように今後も進めていく。

テーマ②安東中:「4ステージ制を3ステージ制へと変更したことにおける学習評価について」

『子どもたちの生活リズムに合わせた流れであると感じる。』『日々の学習をこつこつやることで様々な成果へとつながることを子どもたちに知ってほしい。』というご意見をいただいた。今年度は年度当初にプランニングについての指導を丁寧に行い、今後も個々に支援していくなど、これからも子どもを中心に据えた学校経営に取り組みたい。



<竜南小 CS>

テーマ「子どもが主語となる教育活動の展開について」

竜南小では、子どもの主体的な活動につながる教育活動の展開について、地域とともにある学校の視点で話し合いました。現在、地域の協力や保護者の理解を得ながら、竜南小のチーム担任の型ができつつあります。協議の中で、運動会に向けて、子どもたちがやりたいことを自分たちで考え、主体的に取り組んでいること等を伝え、「教員は、主体性を尊重するだけでなく、どう働きかけていくかを考えていく必要がある。」「目標に向かって主体的に取り組める活動にしていきたい。」等の意見が出ました。

今年度は、地域ぐるみで子どもたちの主体性を育み、豊かな学びにつなげていきたいと思っています。



<城北小 CS>

今年度の教育活動について、校長から学校経営方針を説明し承認を頂きました。また、主幹教諭からは「令和8年度学校評価書」について説明をしました。評価項目ごとに具体的な活動を写真でご覧いただき、委員の皆様の評価に向けての参考としていただきました。意見交換では、地域学校協働活動推進員さんの手伝いに進んで手を貸す高学年の表れが挙げられ、高学年の主体性が育っている、その表れが低学年にもよい影響を与えているのではないか、という意見が出されました。また、支援部会によるサポートが日常化されてきていることから、子供たちが地域に支えられていることを実感しました。今後は、学校が地域に対してできることについても模索していきたいと思っています。

